

授業科目(ナンバリング)	スポーツ原理 (CC101)			担当教員	神野 周太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択 (コース必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本授業では、身体、体育、スポーツに関する哲学的アプローチについて理解することを目的とする。これまでの研究成果の一覧を理解することに留まらず、身体、体育、スポーツについての歴史的理解を踏まえて現在の問題（これからの体育における学び、部活動問題、スポーツ指導者のあり方、スポーツにおける倫理）について意見を持つことを目的とする。							②
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	・身体、体育、スポーツの諸問題について歴史的、哲学的観点から討議できる。 ・体育、スポーツの概念について説明できる。			授業内小レポート 定期試験		30% 60%	
情報収集、分析力	・身体、体育、スポーツの現代的問題について様々な意見を整理することができる。			授業内小レポート		10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席				受験要件			
合計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業内小レポート：授業毎に小レポートを課し、授業内容の理解及び授業内容に対する思考、発想について評価する（評価基準 40%） テスト：期末に行うテストでは講義内容についての基礎的な知識の理解及び自身の思考、発想について評価する（評価基準 60%）また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。							
授業の概要							
講義中心であるが、「覚える」よりも「考える」ことが重要であるため、講義中に決められた時間で自分の考えをまとめる課題を行う。また、講義中の質問に対して学生個人の意見を求める場合もある。 主なトピックスは以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「体育」、「スポーツ」に関する研究分野について ● 「体育」、「スポーツ」の現状について ● 体育について ex) 体育とは何か、体育の目標、私の行ってきた体育 ● スポーツについて ex) スポーツとは何か、スポーツの価値・目標、部活と勝利 ● スポーツ倫理（時事的話題を含む） この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に使用しない 参考書：『身体教育を哲学する』佐藤臣彦 1993、『身体教育の思想』樋口聡 2005、『体育・スポーツの哲学的見方』久保正秋 2010 指定図書：『身体教育を哲学する』佐藤臣彦							
授業外における学修及び学生に期待すること							
中学校・高等学校の保健体育教員免許取得希望者は必修となる。 受講時の注意 <ul style="list-style-type: none"> ・メモをとる。ポイントは「テクニカルターム（術語）」「重要事項」「関連事項」「ひらめいたこと」など。 ・講義の内容については資料で確認する。どこで何を調べることができるかを知ることが重要である。 ・自ら考える。自分なりの思考で構わない。大切なのはいつも自分が問いを発し、回答を用意すること。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	本講義の目的、内容等の説明、「体育、スポーツ」に関する調査	予) シラバスを読む
2	体育の科学	体育学とスポーツ科学	復) 体育原理の位置づけについて小レポートを作成する
3	スポーツの原理とは	体育・スポーツの哲学研究法	復) 体育原理の研究方法について小レポートを作成する
4	体育の現在	体育の現状分析	復) 体育の現状批判について小レポートを作成する
5	これまでの体育	身体教育の歴史	復) 日本を中心に身体教育の歴史的展開について小レポートを作成する
6	「体育」の構成	教育概念	復) 体育論における教育概念について小レポートを作成する
7	体育とは何か	体育概念のまとめ	復) 体育哲学者の佐藤臣彦が提唱する体育概念について小レポートを作成する
8	現代スポーツの問題	スポーツの現状分析	復) スポーツの現状批判について小レポートを作成する
9	これまでのスポーツ	スポーツの歴史、オリンピックと政治、人権	復) 人類におけるスポーツの歴史について小レポートを作成する
10	文化としてのスポーツ	文化概念	復) 文化概念と文化論について整理する
11	スポーツとは何か	スポーツ概念のまとめ	復) スポーツ概念について小レポートを作成する
12	スポーツにおける勝利至上主義とドーピング	スポーツでは勝つことが全てか？どこまでがドーピングとなるか？	復) 勝利至上主義と諸問題について意見をのべる
13	スポーツ指導に関わる者とその責任	コーチングとは、コーチとは、運動部活動を行う教師はコーチ？スポーツ指導者の責任とは？	復) コーチングについて小レポートを作成する
14	現代スポーツの倫理的課題	体育、スポーツに関する倫理的問題：指導者の責任、人権、ドーピング、性別	復) 授業テーマについて、これまで経験した事例をもとに小レポートを作成する
15	まとめ	講義全体のまとめ	復) 本講義で学んだことをレポートにまとめる
16	定期試験		